

緑風会 今井 俊郎 議員

シティセールスについて

(質問) 本年3月議会での私の一般質問で、シティセールス戦略見直しを早急に行うと答弁があったが、その後どうなっているのか再度問う。

鈴鹿市ホームページ更新による、絶えず新しい、そしてより多くの情報発信が必要であり、シティセールスにつながる。リンク機能の充実を進めるべきであると考えているがどうか。

(答弁) 取り組み成果を包括して測ることができる定量的な成果も設定し、全市的な取り組みを推進することを考え、政策検討会議や行政経営会議で庁内横断的に検討・審議し、戦略の改定素案を取りまとめる。平成30年2月頃には市議会への説明やパブリックコメントを実施し、今年度内の3月には公表していく。

本市のプロフィールをはじめ、モータースポーツ、伝統産業など鈴鹿市のイメージを効果的に発信していけるよう、リンク先の追加については検討していきたい。

自由民主党 鈴鹿市議団

森 喜代造 議員

学校のいじめ問題について

(質問) いじめの実態と防止対策について。

(答弁) 今年度10月末でのいじめの報告件数は増加している。学校がいじめを積極的に認知する取り組みなどを行っていることが背景にある。

SNSを通じたネットによるいじめ事案も増えているため、安全確保を第一に考え、小中学校の児童生徒にいじめアンケート調査を

実施し、児童生徒間の関係の修復を図り、見守りを行うなど、継続した対応を行っている。

また、全ての小中学校において「学校いじめ防止基本方針」が作成され、未然防止、早期発見、再発防止の取り組みが進められている。

いじめの防止や発見については、保護者の協力も不可欠であり、市民の方が「いじめをしない、させない、許さない、見逃さない」という意識を持つことを強く願う。

その他の質問○子どもの安全確保について

無所属の会

永戸 孝之 議員

障がい者福祉政策

(質問) 平成29年5月に改正介護保険法が成立し、「共生型サービス」の創設が決定した。今回の制度改正で介護保険サービスが改悪するのではないかと不安がある一方で、この「共生型サービス」は、「介護保険サービス」と「障がい者福祉サービス」の垣根を取り払う利便性では、画期的な制度になる。「共生型サービス」の本市の取り組みを問う。

(答弁) この制度の普及には、「介護サービス」と「障がい福祉サービス」の指定事業所の理解が必要であることから、関係事業所への周知のほか、「共生型サービス」を提供する事業所にサービスのスキルアップを図っていただくことが重要である。そのことから、「鈴鹿市障害者地域自立支援協議会」を活用する中で、指定事業所双方の連携や、「障がい福祉サービス」の量・質の維持に留意し、円滑な制度導入につなげていく。

市民クラブ

原田 勝二 議員

市民生活の良好な環境を守る

- (質問) (1) 廃棄物処理の現状について。
(2) 若松東二丁目地内の廃棄物について。
(3) 許可を与えた市町の責任について。

(答弁) 若松東二丁目地内の一般廃棄物及び産業廃棄物の処理責任者は、現在のところ2業者を確認しており、三重県と協力して適正処理に向けた指導を行っている。また、四日市市内の

廃棄物が含まれることから、四日市市に対して適正処理に向けた指導と廃棄物の受入れを要請している。今後も関係機関と連携し早期の原状回復に取り組む。



※若松東二丁目地内に置かれた廃棄物